

私物を売られ、借金の嵐の中を生きる人々の苦闘
東洋の未来を、誰が描くのか
上智大学に暴行被害者支援センターが設立

東洋の未来を、誰が描くのか
東洋の未来を、誰が描くのか
東洋の未来を、誰が描くのか

ジャーナリズムはどこに息づくか

「異なる事実」とどう向き合うか
持続可能なメディアはヤフーに頼らない

メディアは自らを改革できるか
マスメディアが「ニューメディア」に脱皮する

エクソダス現象と終わらない絶望
東京電力 11年の変節

ルポ 副反応
「分断を超える」「女性支援」へ
香港からの通信

「静かな活性期」迎える女性労働運動
サイバー空間の新技術はどこから犯罪になるのか
サイバー警察の設置は何を意味しているか



静かな活性期を迎える女性労働運動
サイバー空間の新技術はどこから犯罪になるのか
サイバー警察の設置は何を意味しているか

2022

(vol.55)

50

2022(vol.55)

2014年3月8日至4月20日
期间
共
1

1

2

14 7

コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守る なんでも電話相談会

(無料・全国いっせい)

住まい

生活
保護

労働

借金

学費

etc

日時 **6月11日(土)** 10:00~22:00

新型コロナウイルスの
影響が全国に広がっています。
弁護士、司法書士、社会福祉士、
労働問題の専門家などが
無料で相談にお答えします。
お困りの方、
お気軽にご相談を!

例えば、

コロナを理由に雇止めにあった。

売り上げが激減して、営業が続かない。

家賃が払えず、追い出されないか心配。

収入がなくなり、生活保護を受けたい。

補助制度を使いたいが、どうすれば。

バイトを切られ学費を払えない。

(ひんこんなくそう)



0120-157930

主催 「コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守る何でも相談会」実行委員会

●小久保 哲郎 (あかり法律事務所 ☎06-6363-3310) ●猪股 正 (埼玉総合法律事務所 ☎048-862-0355)
(社)反貧困ネットワークなど、多くの個人・団体からの寄付に支えられて実施しています。

PDF

「Karoshi(過労死)」

「Karoshi(過労死)」とは、長時間労働による過度の疲労が原因で、心臓病や脳卒中、自殺などを引き起こす状態を指します。近年、働き方改革の推進により、長時間労働は減少傾向にあるものの、依然として深刻な問題として認識されています。

「Karoshi(過労死)」の予防には、労働時間の短縮や、労働環境の改善が重要です。また、労働者の健康状態を定期的にチェックし、必要に応じて休息を促すことも必要です。

「Karoshi(過労死)」の症状としては、頭痛、めまい、集中力の低下、食欲不振、睡眠障害などが挙げられます。これらの症状が長期間続く場合は、医師の診察を受けることが推奨されます。

「Karoshi(過労死)」の予防策として、労働者が自身の健康状態を把握し、無理な働き方を避けることが大切です。また、企業側も労働者の健康を優先し、適切な労働環境を提供することが求められます。

「Karoshi(過労死)」に関するお問い合わせは、労働相談窓口や、<https://karoshi.jp/topics/consultations-202206.html>をご覧ください。また、緊急の場合は110番に連絡してください。